

修正後

議員定数についての検証・検討結果
(報告書案)

令和4年12月

長野市議会議会活性化検討委員会 2019

1 検証・検討経過

- 令和3年8月27日 議員定数の検証・検討について
- 令和3年11月24日 議員定数の検証・検討について
- 令和4年4月15日 議員定数の検証・検討について
- 令和4年5月23日 議員定数の検証・検討について
- 令和4年6月23日 議員定数の検証・検討について
- 令和4年7月27日 議員定数の検証・検討について
- 令和4年11月25日 議員定数の検証・検討について
- 令和4年12月15日 議員定数についての検証・検討結果
(報告書案)

2 議員定数の現状

(1) 議員定数に関する法制

議員定数については、平成 21 年 6 月の第 29 次地方制度調査会の「今後の基礎自治体及び監査・議会制度のあり方に関する答申」を踏まえ、平成 23 年 5 月法律第 35 号により、それまで人口段階別の区分に応じた上限数の範囲内で、市議会の議員の定数を定めるものとされていた議員定数に係る法定上限数の定めはなくなり、条例で定めることとなった。

なお、議員定数の変更は、議員の任期満了による選挙及び議会の解散又は議員の総辞職のような場合にその後に行われる議員の全部についての選挙（以下「一般選挙」という。）の場合に限られている。

(2) 本市議会の議員定数の推移

平成 18 年 9 月市議会定例会において、長野市議会議員定数等調査研究特別委員会の報告に基づき、長野市議会の議員の定数を定める条例を改正し、議員定数を 42 人から 3 人減じた 39 人と定め、平成 19 年 9 月 23 日執行の一般選挙から適用した。

平成 29 年 7 月 20 日、長野市住民自治連絡協議会会長から、議員定数の在り方に関わる現状や将来について、市民からの疑問の払拭及び説明責任を遂げるという観点から、可及的速やかに引き続き調査研究を進め、早急にその経過や結果について公表してほしいとの要望書が議長あてに提出されました。

長野市議会議会活性化検討委員会 2016 で検討を行い、地域性を補完しつつ市政全体を俯瞰し、監視評価するとともに、市民のための政策立案を進めるうえで、現在の議員定数 39 人は、現状において適正であると判断する内容の報告書を踏まえ、令和元年の選挙まで 39 人の議員定数で行われている。

3 本市議会議員の定数の検証・検討について

(1) 検討委員会における主な意見

ア 議員定数を 36 人とする意見

- これまで 1 万人に 1 人の目安で検証してきた。
- 常任委員会の審査における適正な委員数を踏まえ、議論を尽くせる体制として、各委員会 9 人、4 委員会で 36 人でよい。
- 民生費が上がっていく中で、議員活動は確かに重要ではあるが、そのところを聖域とすべきではない。削減する重要性はあるのではないか。

イ 現状を維持すべきとする意見

- なぜ減らした方がよいのかという理由が、協議の中で全く見えてこない中で、議員定数を減らす必要性はない。むしろ減らさないほうがきちんとした議論や、多様な意見を反映することができるのではないか。
- 議会費の割合が多ければ減らすという問題になると思うが、そうではない。特に減らす、削減という理由はない。
- 人口減少の中にあっても、広大となった本市の中山間地域の声をしっかりと受け止めていく必要がある。
- 議員定数を減らすのではなく、議員報酬を減らす検討をすべきではないか。

ウ その他の意見

- 削減方向に動かすのであれば、中山間地域の意見を代表するという機能が弱くなる懸念がある。方策の一つとしては、区割りを切って中山間地域の選出する議員の定数を保障するといったやり方もある。
- 定数削減をするのであれば、中山間地域の意見をどのように酌み取っていくのかという議論とセットで取り扱われるべき議論である。
- 客観的または公正かつ理論立てて議論するための第三者機関が必要ではないか。そこに議論をお任せし、議会はそれを尊重するのが一つの方法ではないか。

(2) 検証・検討の結果

長野市議会議会活性化検討委員会 2019 を構成する 4 会派及び無所属議員のうち、委員長を除き 3 会派 8 名（新友会、改革ながの市民ネット、公明党）は定数 3 減、1 会派 2 名（共産党）は現状維持であった。無所属議員 1 名は、定数減とセットで中山間地域の意見聴取の方法を考えるべきで、結論が見いだせないのであれば第三者機関の設置が必要であるとの意見であった。

以上、当委員会の総意として、中山間地域を含めた意見や要望等の集約方法、あるいは市民と議会の意見交換会のあり方など、引き続き検討を進めていく課題はあるとしたものの、議員定数については、定数 3 減と現状維持の意見を併記し報告とする。

議会活性化検討委員会 2019 委員（定数 12 人）

委員長	小泉 栄正（新友会）
副委員長	勝山 秀夫（公明党）
委員	野々村博美（共産党）
委員	滝沢 真一（共産党）
委員	布目裕喜雄（改革ながの市民ネット）
委員	鈴木 洋一（改革ながの市民ネット）
委員	近藤 満里（公明党）
委員	小泉 一真（無所属）
委員	金沢 敦志（新友会）
委員	北澤 哲也（新友会）
委員	若林 祥（新友会）
委員	西沢 利一（新友会）